簡易取扱説明書

可燃性ガス検知器
XP-3110
高濃度ガス検知器
XP-3140
高感度ガス検知器
XP-3160

1.　測定準備

1. パワーボタンを押します。ブザーが鳴り、メイン画面にADJと表示され、バーグラフがカウントダウンします。(暖機運転中)

2.　センサーが安定すると、ブザーが鳴りガス濃度画面が表示されます。表示されると、検知可能です。

3. 機器未使用の期間が長かった場合や、周囲の環境によっては、センサーが安定しない場合があります。その場合は、必ず、正常空気中でゼロ調整してご使用ください。

2. 測定開始

1. ガス濃度画面（1.2）にパワーボタンを押すとバーグラフのレンジの切り替えができます。
電源 ON 時は AUTO になっており、AUTO → H レンジ→ L レンジ→ AUTO の順に切り替わります。

2. ガスの濃度が警報レベルに達すると、警報ブザーを発します。ガス濃度が警報レベルに満たなくなると、自動的に解除されます。ガス警報中に、ブザーストップボタンを押すと、ブザーのみ停止できます。

3. 測定が終わりましたら、正常な空気で吸引を行い、ガス濃度が下がってから、パワーボタンを長押ししてください。